

令和3年9月24日

お客様各位

一般社団法人 日本金型工業会
会 長 水 出 悟



原材料価格高騰による安定供給に向けたお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より当工業会会員企業に対しまして、格別なるお引立てを賜り厚く御礼申し上げます。

現在、特殊鋼材の主原料となる鉄スクラップ価格が高騰し、また新型コロナウイルス禍からの経済回復により鋼材需要が拡大して世界的な需給逼迫となっていることから、金型の主原料である鋼材の価格が歴史的にも高い水準となっており、本年に入ってからだけでも数回にわたる値上げが行われました。この鋼材価格の相次ぐ上昇は、当工業会会員をはじめとする金型企業の本価低減活動の自社努力では吸収しかねるレベルで、金型企業ではコストに占める原材料費の割合が高いことから、経営が圧迫される大変深刻な状況となっています。

このような状況下において、経済産業省は、本年9月を「価格交渉促進月間」に設定し、原材料費や労務費の上昇等が受注価格に適切に反映されることを促す取組を行っています。同月2日には、梶山弘志経済産業大臣、経済団体の代表、各業界の主要企業の経営者等によるキックオフイベントが開催され、梶山経済産業大臣からの産業界への協力の呼びかけに対し、各団体からは価格交渉促進月間実施への御賛同と実施に当たっての御協力が示されました。

また、経済産業省作成の「素形材産業取引ガイドライン」（原材料価格、エネルギー価格、運送費、労務費等のコスト増の転嫁）において、経営努力の範囲を超えるものについては、明確な根拠に基づいて、発注者と受注者が十分に協議を行い、合理的な取引価格を設定することが求められていることから、何卒ご理解ご協力を賜り、原材料価格の高騰による金型価格の見直し、価格決定のためのより頻繁な協議の開催について特段のご配慮を頂きますようお願い申し上げます。

つきましては、貴社のご協力を賜り、様々な困難を克服して今後とも金型製品の安定供給の責任を果たしていく所存でございます。

何卒、金型業界の深刻な実情をご理解頂き、当工業会会員が貴社に伺った際には、会員の窮状をお聴き頂き、特段のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

末筆ながら貴社の益々のご繁栄を心よりご祈念申し上げます。

敬具